



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年2月14日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社 メンバーズ

コード番号 2130 URL <http://www.members.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 剣持 忠

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員兼コーポレートサービスディビジョン長 (氏名) 小峰 正仁

TEL 03-5843-5333

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	3,228	15.1	72	23.4	71	24.2	103	—
22年3月期第3四半期	2,803	△17.6	58	—	57	—	△4	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	3,674.66	3,649.83
22年3月期第3四半期	△172.04	—

(注)22年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	1,684	934	55.4	33,056.86
22年3月期	1,612	828	51.3	29,339.40

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 932百万円 22年3月期 827百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,485	12.8	100	△12.9	98	△19.4	125	119.3	4,429.95

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期3Q 29,560株 22年3月期 29,560株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 1,343株 22年3月期 1,343株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期3Q 28,217株 22年3月期3Q 28,217株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した業績予想数値は、現時点で当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は今後様々な要因により上記予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(第3四半期累計期間)	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間においてわが国の経済は、経済対策の影響により回復基調が見られるものの、依然として欧米経済の先行きの不透明感は残り、個人消費や雇用環境などは厳しい状態が続いております。

このような状況の中、当社が属するインターネット業界では全世界で約6億人のユーザーを持つFacebookが市場で成長を続けており、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）の存在感はさらに大きくなっております。さらに、日本国内でもFacebookの利用者は徐々に増加傾向をたどっており、ソーシャルメディアの普及によってインターネット業界は新たな展開に移行しつつあります。

そうした中、企業のソーシャルメディアやスマートフォンを活用したマーケティングへの需要は拡大しており、従来のWebサイトを含めたトリプルメディアマーケティング戦略の実行支援が求められてきております。

当社は「ソーシャルメディア時代をリードするネットビジネスパートナー」として、従来からの強みであるWeb構築、インターネット・ビジネス運用代行サービスとソーシャルメディア運営ノウハウを組み合わせ、企業へのソーシャルメディアマーケティング支援に積極的に取り組んでいます。当社が手掛けたFacebook関連の事例としては、日本でトップを争うファン数を持ちソーシャルメディア活用に積極的な「良品計画」様のファンページの制作・運用支援や、開設当初から急速なスピードでファン数を伸ばしている「全日本空輸」様のファンページ制作・運用支援などがございます。

さらに、サービス強化と致しまして、平成22年7月に資本・業務提携を致しましたデジタル・アドバタイジング・コンソーシアム社（以下、DAC社）と共同で、米国Involver社のFacebookファンページ上で利用できるソーシャルアプリケーションサービスなどの提供を開始しております。また当社は、DAC社のグループ各社が個別に保有するクリエイティブ機能、プランニング機能などを結集し、より高い次元のソリューションサービスを提供する「FRUITS BEAR（フルーツベア）」の一員として、ソーシャルメディア領域の強化を図っております。

また、平成22年12月17日に平成23年3月期通期業績予想を売上高4,485百万円（当初予想比5.6%増）、営業利益100百万円（当初予想比41.3%減）、経常利益で98百万円（当初予想比41.5%減）、当期純利益で125百万円（当初予想比23.8%減）と修正しております。既存のインターネット・ビジネス運用代行サービスにおいて様々な収益性向上の取り組みを行っておりますが、一部の大型案件で収益性が低下したなどの影響により、当初の見込みより利益率が下がる見込みであります。一方、ソーシャルメディアマーケティングへの需要が拡大している中、既存のサービスでの短期的な営業活動に注力するよりもソーシャルメディア関連サービスの開発・営業を強化することに加え、自社単独で、または他社と共同でソーシャルメディアを用いた新たなインターネットサービスを積極的に立ち上げていくことで、来期以降の大幅な業績向上に向けた取り組みに注力してまいります。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は3,228百万円（前年同期比15.1%増）、営業利益は72百万円（前年同期比23.4%増）、経常利益は71百万円（前年同期比24.2%増）、四半期純利益103百万円（前年同期は四半期純損失4百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 純資産、負債及び純資産の状況

（総資産）

当第3四半期会計期間末の総資産は1,684百万円（前事業年度末比72百万円の増加）となりました。これは主として、現金及び預金が187百万円、仕掛品が33百万円増加し、受取手形及び売掛金が116百万円減少したことによるものです。

（負債）

当第3四半期会計期間末の負債は750百万円（前事業年度末比34百万円の減少）となりました。これは主として、未払金および未払費用が27百万円増加したものの、買掛金が23百万円、賞与引当金が57百万円減少したことによるものです。

（純資産）

純資産につきましては934百万円（前事業年度末比106百万円の増加）となりました。これは主として、四半期純利益によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、前事業年度末に比べて187百万円増加し、652百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は、146百万円（前年同四半期は9百万円の使用）となりました。収入の主な内訳は、税引前四半期純利益104百万円、売上債権の減少129百万円によるものであり、支出の主な内訳は、賞与引当金の減少57百万円、たな卸資産の増加33百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間において投資活動の結果得られた資金は、55百万円（前年同四半期比10百万円増）となりました。これは主に投資有価証券の売却による収入20百万円、事業譲渡による収入38百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は、14百万円（前年同四半期比は69百万円の獲得）となりました。これは長期借入金の返済による支出12百万円によるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成22年12月17日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

・会計処理基準に関する事項の変更

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

なお、これにより、損益に与える影響はありません

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	652,498	465,038
受取手形及び売掛金	757,409	874,120
仕掛品	81,890	48,572
その他	17,833	16,467
貸倒引当金	△37	△61
流動資産合計	1,509,593	1,404,138
固定資産		
有形固定資産	36,220	42,151
無形固定資産	3,367	16,629
投資その他の資産	135,501	149,637
固定資産合計	175,089	208,418
資産合計	1,684,683	1,612,557
負債の部		
流動負債		
買掛金	428,049	451,397
1年内返済予定の長期借入金	16,008	16,008
未払金及び未払費用	164,878	137,085
未払法人税等	3,793	5,352
賞与引当金	13,188	70,906
受注損失引当金	15,562	—
その他	58,962	28,024
流動負債合計	700,443	708,775
固定負債		
長期借入金	38,646	50,652
リース資産減損勘定	4,765	15,640
その他	6,256	9,122
固定負債合計	49,667	75,414
負債合計	750,111	784,189
純資産の部		
株主資本		
資本金	771,275	771,275
資本剰余金	401,738	401,738
利益剰余金	△196,056	△299,744
自己株式	△45,415	△45,415
株主資本合計	931,541	827,853
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,224	16
評価・換算差額等合計	1,224	16
新株予約権	1,806	497
純資産合計	934,571	828,367
負債純資産合計	1,684,683	1,612,557

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
売上高	2,803,755	3,228,090
売上原価	2,334,660	2,694,316
売上総利益	469,095	533,773
販売費及び一般管理費	410,674	461,696
営業利益	58,420	72,077
営業外収益		
受取利息	83	104
受取配当金	96	192
受取手数料	—	290
受取保険金	401	—
その他	5	97
営業外収益合計	586	684
営業外費用		
支払利息	1,008	1,528
過年度消費税等	423	—
その他	382	208
営業外費用合計	1,814	1,736
経常利益	57,192	71,024
特別利益		
投資有価証券売却益	—	4,856
事業譲渡益	—	28,942
貸倒引当金戻入額	1,467	23
特別利益合計	1,467	33,822
特別損失		
固定資産除却損	26,413	—
本社移転損失	28,544	—
特別退職金	6,840	—
特別損失合計	61,797	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△3,136	104,847
法人税、住民税及び事業税	1,717	1,717
法人税等還付税額	—	△558
法人税等合計	1,717	1,159
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4,854	103,687

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△3,136	104,847
減価償却費	10,866	11,922
株式報酬費用	—	1,308
本社移転損失引当金の増減額(△は減少)	△31,088	—
受注損失引当金の増減額(△は減少)	—	15,562
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,467	△23
賞与引当金の増減額(△は減少)	△12,847	△57,718
受取利息及び受取配当金	△180	△296
支払利息	1,008	1,528
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△4,856
事業譲渡損益(△は益)	—	△28,942
固定資産除却損	26,413	—
特別退職金	6,840	—
売上債権の増減額(△は増加)	28,471	129,757
たな卸資産の増減額(△は増加)	16,454	△33,317
その他の流動資産の増減額(△は増加)	29,778	△1,378
仕入債務の増減額(△は減少)	△51,394	△23,348
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△16,458	33,769
小計	3,258	148,814
利息及び配当金の受取額	180	296
利息の支払額	△2,636	△1,249
特別退職金の支払額	△6,840	—
法人税等の支払額	△3,159	△2,099
法人税等の還付額	—	558
営業活動によるキャッシュ・フロー	△9,196	146,320
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△28,528	△2,012
無形固定資産の取得による支出	△2,500	—
投資有価証券の取得による支出	△921	△922
投資有価証券の売却による収入	—	20,856
事業譲渡による収入	—	38,000
その他の支出	△34,622	—
その他の収入	111,591	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	45,018	55,921
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	80,000	—
長期借入金返済による支出	△9,338	△12,006
リース債務の返済による支出	△937	△2,776
財務活動によるキャッシュ・フロー	69,724	△14,782
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	105,546	187,459
現金及び現金同等物の期首残高	379,450	465,038
現金及び現金同等物の四半期末残高	484,996	652,498

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。